遠賀

No.184 2026.10.25
発行／福岡県遠賀町議会（おんがちょう）
議会だより



【9月定例会】

令和７年度決算　・・・2
補正予算など　・・・5
一般質問　・・・7
傍聴者の声など　・・・15
議会広報モニターなど・・16

将来を担う若者に、遠賀町や議会のことをもっと知ってもらうために開催します。

募集対象者：中学生以上 30 歳以下
募 集 人 数：20 人（先着順）
申 込 期 限：2026 年 11 月 16 日
主　　催：遠賀町議会

詳細・申込はこちらから

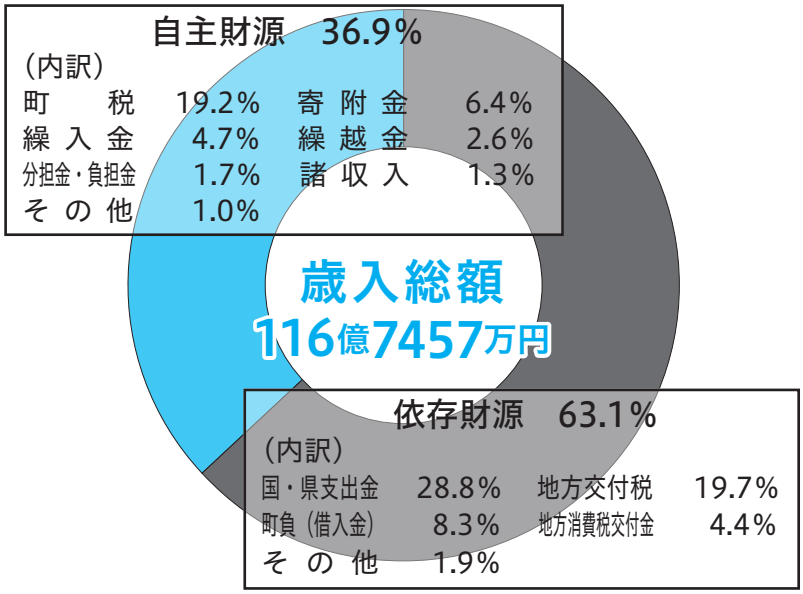
避難所冷暖房化

9月 定例会

9月定例会は、9月1日から16日までの16日間開催されました。

議案は、令和7年度一般会計、下水道事業会計、5つの特別会計の決算認定、条例改正、令和8年度一般会計補正予算など、12議案が上程され、慎重審議を行いました。

一般会計 歳 入（万円未満四捨五入）



町税の税目別収入状況（万円未満四捨五入）

令和7年度 22億4695万円



監査委員 審査意見書（抜粋）

○令和7年度の普通会計の決算状況を見ると、実質単年度収支は3,724万円の赤字である。

○主なところは、扶助費の児童手当および物価高騰対策商品券事業の増、駅南基盤整備事業費および小中学校体育館空調設備事業費の増によるもの。

●今後の課題

①遠賀総合運動公園リニューアル事業。

②老朽化が進む小中学校をはじめとした公共施設の維持管理費の増加。他にも、国際情勢の不安定化など先行き不透明な状況は住民生活に大きな影響を与えていることを考えると、厳しい財政運営が続くと予測される。

そのためには、最少の経費で最大の効果があがるよう、自主財源の確保とさらなる収納率向上に努めるとともに、可能な限り起債や基金からの繰入金に依存しない健全な行財政運営を図っていただきたい。

令和7年度 各会計歳入歳出決算一覧（万円未満四捨五入）

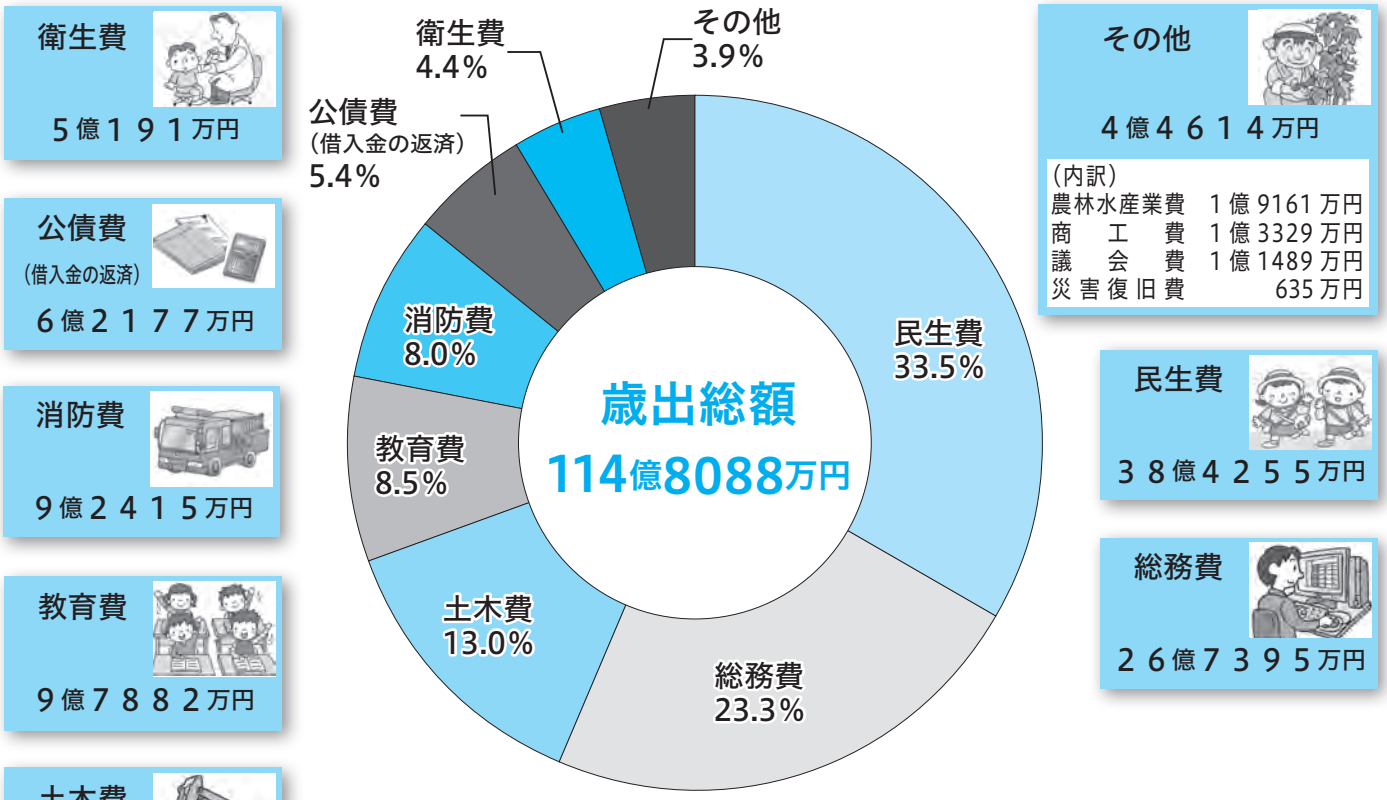
会計名		歳入	歳出	差引残額
一般会計		116億7457万円	114億8088万円	1億9369万円
下水道事業会計		（収益的）6億4937万円	6億3050万円	1886万円
		（資本的）4億2552万円	5億7607万円	▲1億5056万円
特別会計	国民健康保険事業	20億7403万円	19億8474万円	8929万円
	住宅新築資金等貸付事業	34万円	34万円	0万円
	遠賀霊園事業	1億6586万円	1億6012万円	574万円
	土地取得	345万円	340万円	5万円
	後期高齢者医療	4億8808万円	4億8066万円	742万円

※表の金額は万円未満を四捨五入していますので、差引残額に差異がある場合があります。

災害に備え 庁舎の防災機能強化

一般会計 歳 出

（万円未満四捨五入）



衛生費

5億１９１１万円

公債費
（借入金の返済）

6億２１７７万円

消防費

9億２４１５万円

教育費

9億７８８２万円

土木費

１４億９１６０万円

その他

4億４６１４万円

（内訳）

農林水産業費	1億9161万円
商工費	1億3329万円
議会費	1億1489万円
災害復旧費	635万円

民生費

３８億４２５５万円

総務費

２６億７３９５万円

※町財政状況の詳細は、遠賀町ホームページをご覧ください。
※表の金額は万円未満を四捨五入していますので、小計と合計に差違がある場合があります。

令和７年度 決算認定

（一般会計・国民健康保険事業特別会計・後期高齢者医療特別会計‥‥賛成多数認定）
（その他すべて‥‥‥‥‥‥‥‥全員一致認定）

空調設備、戸別受信機配布など未来に向けた決算を認定



学校体育館空調設備設置工事
１億９９６０万円
児童生徒の熱中症対策や避難所の環境改善を行うため、町内の全小中学校の各体育館へエアコンを設置しました。



地域情報伝達システム整備事業
6億８９７万円
災害情報や避難情報が確実に伝達できるよう町内全戸に戸別受信機を配布しました。

令和７年度

決算特別委員会 審査報告

９月８日～10日

令和７年度一般会計、下水道事業会計、５つの特別会計の歳入歳出決算について、各担当課から主要施策の事業実績を中心に概要聴取を行い、予算がどのように事務事業に反映されたかを審査しました。

委員長報告

歳入のポイントとして、「町税の徴収が効果的になされているか」「補助金を予算どおりに確保できているか」「その他収入確保の努力が十分であったか」を審査しました。

歳出のポイントとして、「支出が適法適正になされているか」「不用額は妥当であるか」「予算の流用や予備費の充当は適正か」「補助金の効果が上がっているか」などについて審査しました。

審査の結果、全議案を全員一致で認定しました。

決算特別委員会
～私たちが審査しました～



委員　松尾　啓太
委員　濵田　竜一
副委員長　舛添　博孝
委員長　二村　誠司
委員　野口　久美子
委員　立石　紘一郎

来年までに検討を！

3項目の指摘

決算特別委員会から町執行部へ

次の指摘事項は、町執行部で検討され、令和９年３月定例会で報告されます。

指摘1

各種町公式ＳＮＳの運用については、民間業者などの活用により、職員の負担軽減と広告収入などの収入確保に向けた検討を進められたい。

指摘2

高齢者世帯エアコン設置補助事業については、高齢者世帯の熱中症や低体温症などによる健康被害防止目的で実施している事業であるが、申請件数および交付件数が少ないため、要件の緩和や柔軟な対応を含めた検討を進められたい。

指摘3

老人クラブ補助金交付事業については、各地区の高齢者の社会参画を促すことを目的として実施されている事業であるならば、公平な補助金の交付が図られるよう、制度の周知方法や要綱の見直しも含め検討を進められたい。

こんな質疑がありました

委員　用悪水路（注）の整備について、生産組合から地元の要望があり、判定をしていると思うが、全体を把握して計画的に実施する考えはないのか尋ねる。

課長　全体の把握ではないが、毎年地元への要望を聞いて予算内で調整しながら実施している状況だ。今までと違うのが、木製から鋼鉄製に変えて寿命を延ばす方向で対応している。工事費は上がるが、耐用年数が３倍の15年となっている。昨年初めて今古賀地区で土留め鋼板を使った。これまでの流れはあるが、区切りがよいところから土留め鋼板を使うように考えている。

（注）用悪水路　農業用水を引いたり、雨や排水などを流すための水路



今古賀地区の土留め鋼板

委員　起業支援施設について、起業件数が今回０件となっている。事業実施や施設の方向性に関する支援策を検討していくとあるが、拡大か縮小のどちらを検討しているかを尋ねる。

課長　今後の方向性としては、施設の老朽化が進んでいるというのが課題のひとつだ。起業支援は大変重要だと思っているが、縮小の方向性だ。以前、建物も改修したが、その耐用年数がどれくらいあるのかも現在調べているところだ。



老朽化が懸念されるピピット

委員　本町においてカスタマーハラスメントに該当する事案は発生しているか。また、1人で抱え込むことがないような相談体制がとれているか。

課長　現時点ではカスタマーハラスメントに及ぶほどの事案は発生していない。可能な対策をした上で研修を行った。基本姿勢を研修で学び取ってもらい、複数で対応する、上司が出て組織として対応するという体制を整えている。

委員　豊かなふるさと遠賀寄附金が令和7年度に減った原因と令和6年度が良かった理由を尋ねる。

課長　令和6年度が伸びた要因は、ポータルサイトが毎年広告を表示しており、遠賀町が広告に多く表示されたことで、年末年始にかけて非常に多くの寄附が入ってきた。令和7年度は他の自治体の広告が表示されていたので、令和6年度に伸びた分がそのまま減ったことが原因だ。

令和8年度 一般会計補正予算

（賛成多数可決）

第4回目の補正予算は、1億2839万円を増額し、予算規模は99億8983万円になりました。

【主なもの】

ふれあいの里浴場の天井修復工事を実施

63万円

ふれあいの里浴場の天井の一部が腐食し落下したため、腐食箇所の修復工事を行います。



工事に向けて天井を調査中

山手線道路新設工事

2500万円

山手線と県道岡垣遠賀線との交差部工事の増工および信号機を新設します。



山手線と県道岡垣遠賀線交差部付近

議場の机などを更新

2176万円

移動・レイアウトが変更できることにより、災害時には外部からの応援職員の利用も可能となります。

保育所の食材費を補助

1026万円

物価高騰の中、値上げしないで給食を提供している保育事業者を支援します。

県の補助金を活用し、園児1人当たり月額1900円、450人分を令和8年4月から令和9年3月まで補助します。

保育施設を整備するため、補助金を交付

1348万円

経年劣化した遠賀川保育園の外壁等改修工事に補助金を交付。施設の安全性と保育環境の向上を図ります。



外壁等改修工事中の遠賀川保育園

討論

令和7年度遠賀町一般会計決算

反対討論（田代議員）

子ども医療費、保育料第二子の無償化はまだで、デマンドバスの改善、小規模農業者への支援を。全国学力テストなど児童生徒を競争させることはやめるべきで、子どもの権利条約に沿った教育を行うべきである。

賛成討論（立石議員）

駅南地区開発事業をはじめ、遠賀町の「未来」につながる大きな事業が動いた一年であり、同時に、防災、教育、物価高騰対策など「今」を暮らす町民一人一人の生活にも目を向けた一年であったと評価する。

「本町に住んで良かった」「住み続けたい」と実感できるまちづくりを古野町長に期待し賛成討論とする。

人事案件

それぞれ任期満了に伴い、再度推薦・任命されました。

人権擁護委員の推薦

添田　靖子さん（老良区）

（全員一致同意）

●任期

令和9年1月1日から令和11年12月31日まで

教育委員会委員の任命

三浦　知洋さん（新町区）

（賛成多数同意）

●任期

令和8年11月10日から令和12年11月9日まで

特別委員会を設置

遠賀総合運動公園リニューアル整備事業に関する調査・研究のために、全議員で構成する特別委員会を設置しました。

（全員一致可決）

8月臨時会

8月5日に開催されました。

令和8年度 一般会計補正予算

第3回目の補正予算は、1億5106万円を増額し、予算規模は98億6145万円になりました。

（全員一致可決）

【主なもの】

全世帯にくらし応援商品券を配布

1億5106万円

長引く物価高騰や資材不足などから町民の暮らしを支援するため、10月1日から利用できる物価高騰対策商品券を配布します。

金額は1世帯当たり1万円に加え、世帯員2人目以降は1人当たり5000円となります。

8月臨時会・9月定例会　議決結果一覧表

（○：賛成　▲：反対　欠：欠席）

	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会議名	議案名＼議員名	仲摩	野口	田代	松本	立石	萩尾	濵田	松尾	二村	舛添	仲野	中野	織田
8月臨時会	令和8年度遠賀町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	（議長）
9月定例会	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遠賀町教育委員会委員の任命について	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	
	住居表示に関する法律第3条第1項の規定による当町における市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遠賀町認可地縁団体の印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度遠賀町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度遠賀町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度遠賀町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度遠賀霊園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度遠賀町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度遠賀町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度遠賀町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和8年度遠賀町一般会計補正予算（第4号）	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議員派遣の件について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遠賀総合運動公園リニューアル整備事業調査特別委員会設置に関する決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



町政を問う一般質問



【9月4日、7日に7人の議員が一般質問を行いました。】

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などを尋ねたり、町への提言を行ったりすることです。

ページ	質問議員	質　問　事　項
8	仲野　新三郎	◎高齢者支援について
9	野口　久美子	◎遠賀町くらし応援商品券事業について ◎小中学校のLED化事業における入札の在り方について ○中央公民館大ホールのステージについて ○遠賀総合運動公園のグラウンドの屋外トイレの改修について
10	中野　　嘉徳	◎町内の橋梁（きょうりょう）の維持管理計画について
11	立石　紘一郎	◎町内小中学校の設備の安全管理について
12	松本　　登	◎遠賀町くらし応援商品券事業について ◎各地区の子ども育成会・高齢者団体への補助金について ○みんなの夢応援プロジェクト補助金について
13	田代　　順二	◎災害対策について ◎遠賀川駅前のコンビニエンスストアの閉店について ○個人住宅の庭の剪定、草刈りについて
14	濵田　　竜一	◎今期4年間の町政運営と今後の方針について ◎遠賀川駅南地区開発の現状と今後の予定について

議事録検索はこちら

一般質問の議事録は、
遠賀町ホームページで公開します。

最新の議事録掲載には
時間がかかりますので、ご了承ください。

◎：記事掲載あり
○：記事掲載なし

Q シニアカー購入時の費用を補助する考えは

A 現在、検討はしているが財源などの課題もある



なかの　しんざぶろう
仲野　新三郎

シニアカー購入時の補助について

議員　高齢者が外出する機会が減り、家に閉じこもってしまう人が増えている。外出頻度が少なくなると、心身両面での活動能力が低下して介護状態へと進行していく。高齢者が外出しやすくするためにも、高齢者の社会参加と移動手段の支援としてシニアカー購入時の費用の補助制度を導入する考えはないか。



高齢者の外出を手助けするシニアカー

町長　シニアカーの購入費用の補助については現在検討を行っているが、財源などの課題もある。

　高齢者の社会参加などを支援するための取り組みの一つとして今後も検討を進めていく。

運転免許証自主返納者支援について

議員　車は私たちの生活には欠かせないものであり、運転をしている高齢者も免許証を返納するには厳しい判断が必要となるが、運転が困難になった高齢者が自主返納を選択できるような環境を整備していくことが重要だ。運転免許証を自主返納した方に対して支援を拡充する考えはないか。

町長　運転免許証を自主返納した方に対する支援として、令和7年9月のデマンドバス有償実証運行の開始後は、コミュニティバスの回数券50枚かデマンドバスの無料乗車券30枚のいずれかを選択できることとしており、移動手段に応じて支援内容を選べるようにした。

　コミュニティバスおよびデマンドバスによる移動支援の効果や社会情勢なども踏まえた上でのタクシー利用券の交付についても、今後の移動支援の選択肢の一つとして認識している。

介護事業所に対して支援する考えは

議員　高齢者の買い物支援サービスなど、介護制度以外の部分の介護サービスを行っている事業所に対して、高齢者支援サービスをより拡充させていくために、町として支援する考えはないか。

町長　地域包括支援センターを中心に、生活支援体制整備事業の取り組みの一つとして、町内の医療機関への送迎サービスを検討している。まずは、この取り組みが実現できるようしっかり進めていきたい。

高齢者の見守りについて

議員　高齢者の孤独死や孤立死が社会問題となっているが、1人暮らしの高齢者の見守りや安否確認はどのような体制で行っているか。

町長　在宅介護支援センターの訪問や配食時の声掛け、緊急通報装置の設置などを行っている。

（https://www.town.onga.lg.jp）で公開します。



のぐち　くみこ
野口　久美子

Q 物価高騰に対して、現金給付も一つの選択肢では

A 現金給付と商品券事業と合わせて、ゼロベースから検討している

次回以降は、現金給付の実施を

議員 名称が「くらし応援商品券」という名前になっているが、今までの商品券とどこか工夫し変えられたか。

町長 内容は変わらず、名称のみ変わっている。

議員 物価高騰により家計の負担が増している。今、町民が必要なのは自由に使える現金給付が効果的ではないか。

町長 現金で渡した場合、一部が町外の大型店やインターネット通販に流れ町外に出ていくことになる。また、町内事業者への支援も目的としており、前回議会において、議員の賛同も得ている。

議員 酷暑が続いてずっとエアコンを使用し、電気代の心配、ガス水道代も上がっている。すぐに現金の方が役に立つ状況では。現金給付も一つの選択肢としてあり得るのでは。

町長 現金給付と商品券事業とあわせてゼロベースから検討している。

議員 町民の暮らしを応援という趣旨であれば、お盆の時期に出費がかさむことを想定して6月補正8月実施とすべきでは。

町長 値上げは、4月と10月に集中し、12月に商品券が手元にあることが効果的なので、10月から実施で準備を進めている。

町内事業者の受注機会の確保を

議員 小中学校のLED化事業では町の財源を使って実施する事業のため、町内事業者が入札しやすい条件に変更する考えはないか。

町長 法令に基づき、公正性や競争性を確保しつつ町内事業者が参加しやすい環境づくりに努める。

議員 例えば小学校と中学校を区切って実施することは考えられなかったか。

庶務財政課長 工事方式とリース方式を比較検討し、維持管理を含めた総合的観点からリース方式が有利と判断した。

議員 一括工事費で1億7000万、10年リースで7000万だが、1灯当たりの単価はいくらか。

学校教育課長 1灯当たりの灯具の費用は把握できていない。

議員 この事業に地元業者は入っているか。

町長 入っていない。

議員 地元業者の方々が共同体を作って入札する方法もあると思うが。

町長 地元業者が参入できる形をとれないか今指示を出している。



地元業者に入って欲しいLED工事

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ

Q 早急に対策が必要な橋梁（きょうりょう）に対する今後の計画は



なかの　よしのり
中野　嘉徳

A 早急に対策が必要な橋梁は1橋で令和9年度に撤去予定である

本庁が管理する橋梁は何橋か

議員 日本国内の橋梁の多くは高度経済成長期に建設されており、その老朽化対策が維持管理における重要な問題になっている。本町でも令和7年3月に橋梁に関する個別施設計画を策定済であるが、本町が管理する橋梁数と損傷の程度から判断して対策が必要な橋梁数は何橋あるのか尋ねる。

町長 本町が管理する橋梁は、令和8年3月で24橋あり、これらの橋梁については、国土交通省が定める道路橋定期点検要綱に基づき、5年に1回の頻度で定期点検を実施している。この点検結果をもとに、橋梁の劣化状態を4段階の判定区分として評価・診断し、今後の対策の緊急度を決定している。本町において対策が必要な橋梁は、4段階の判定区分のうち、早急に補修などの対策が必要な早期措置段階に該当する橋梁であり、その橋梁は来年度撤去予定のあけぼの歩道橋1橋となっている。



撤去工事が行われるあけぼの歩道橋

議員 早急に対策が必要な橋梁に対する今後の計画はどのようになっているか尋ねる。

町長 早期に措置が必要な橋梁は1橋であるが、令和9年度に撤去工事を予定しており、今年度は実施設計や関係機関と協議を行っている。

インバイロワン工法の選択の考えは

議員 全国的に高度経済成長期に整備された橋梁などのインフラが老朽化し、一斉に補修や更新の時期を迎えているが、補修等の課題となっているのが、過去の塗料に含まれていた有害物質の処理である。特にPCB（ポリ塩化ビフェニル）は毒性を持つ物質が塩素に置き換えられた油状の物質の総称で、PCBの摂取が問題となったカネミ油症事件などの深刻な健康被害が発生しており、昭和50年以降は製造および使用が原則禁止されている。今後、橋梁補修の際にPCB対策として、国土交通省が推奨しているインバイロワン工法も選択としてあるのか尋ねる。

町長 本町が管理する鋼製の橋梁が3橋あり、鹿児島本線を南北にまたぐあけぼの歩道橋と希望のかけ橋、老良地区内の第2村下橋が塗装された橋梁である。インバイロワン工法がPCBなどの有害物質を含む古い塗膜を完全に除去できる技術として、全国的に推奨されていることは承知している。PCBが使用されていたのは昭和49年頃までであり、平成27年架設の希望のかけ橋は対象外である。あけぼの歩道橋、第2村下橋の塗装についても、調査の結果PCBの含有はないため、インバイロワン工法を採用する考えはない。

（https://www.town.onga.lg.jp）で公開します。



たていし こういちろう
立石　紘一郎

Q 学校の設備は現在どのような点検を行っているか

A 各学校において、定期的に点検項目に基づき確認を行っている

小中学校の設備の安全管理について

議員 町内小中学校の設備、具体的には遊具、フェンス、ネット、支柱などについて、現在どのような点検を行っているか。

教育長 各学校において、定期的に点検項目に基づき異常がないか確認を行っているほか、日常的に目視点検や安全点検を行っている。

議員 教職員による目視や触診だけで、高い木の倒木のリスクやフェンスや遊具、電柱の劣化などまで判断できると考えているか。

教育長 点検して異常があった際は、すぐに教育委員会に連絡があり、その箇所について状態を確認し、専門業者などに依頼して安全を確認している。

議員 最近は異常な箇所は見つかっているか。

教育長 現状では、異常な箇所は報告されていない。

議員 異常はないとのことだが、遠賀南中学校では校門付近の高い木は枝が隣接する住宅側まで伸びており、校舎の裏側には樹木が生い茂り、学校敷地内の電線に枝が接触している箇所が複数見られる。電線が切れる可能性もあり、非常に危険と感じるが、これについて確認をしているのか。

学校教育課長 遠賀南中学校の樹木の状況については把握しており、現在、専門の業者などに、どういった対策ができるか尋ねている。

広渡小のネット付き支柱は安全か

議員 広渡小学校の運動場には、住宅地に面してネット付き支柱が複数設置されており、近隣住民から台風や地震などの際の倒壊を不安視する声がある。支柱の設置時期、点検状況および安全性を町はどのように把握しているのか尋ねる。

教育長 近隣住民から、安全面に不安視をする声を受け、令和3年5月に風圧による倒壊リスクの軽減を図る目的で、ネットの高さを半分程度に切り下げる改修および専門業者による強度計算調査を実施した。現状においては安全性に問題はないとの結果を得ている。

２０３０年代初めには耐用年数を迎える見込みのため、撤去あるいは更新を含めた最適な維持・管理の在り方について、研究している。



2030年代に耐用年数を迎える広渡小の支柱

議員 「大丈夫です」という安心するような情報を報告する必要性があると思うが、その考えはあるか。

教育長 できる限り安心・安全な状態であるということが伝わるように工夫しながら、教育委員会として発信していきたいと考えている。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ

Q 過去の高騰対策商品券の大型店と個人店の利用比率は



まつもと のぼる
松本　登

A 過去の物価高騰商品券事業の換金割合は大型店34.3％、個人店65.7％

口座振込か共通商品券増やせないか

議員 商品券の大型店と個人店の利用比率を把握しているか尋ねる。

町長 利用比率は大型店が34・3％で、個人店が65・7％である。



前回の物価高騰対策商品券
（共通券4枚、個人店専用券6枚）

議員 担当課に資料請求すると「住民の銀行口座の把握はできていない。商品券以外の支援方法は検討していない」との回答だった。新型コロナ対策で国から1人10万円支給された際は口座振込されたはずである。縦割り行政の弊害ではないか。

町長 定額給付を支給する際は口座情報を確認しながら振り込みを行ったが、基本的に個人情報の関係で町として保管すべきではないと捉えている。

議員 大型店のみ利用できる共通券は4割発行だが、34・3％の利用なので共通券を増やしても個人店で利用される。町長に店舗別の利用状況が詳しく報告されているか。

町長 事業終了時点で報告を受けている。

議員 町長は今後どう改善すれば、住民・事業者に喜ばれると思うか。

町長 住民・事業者を支える現在の方法が最善と判断している。

議員 事業費用の支払い者は町か商工会なのか。

町長 換金事業は商工会に委託している。

議員 未利用商品券は商工会に利益が出るのか。

町長 事業者から商工会へ換金された請求分を町が支払うことになる。

議員 商品券を千円にし、お釣りが出るなど改善できないか。

町長 五百円が良いか、千円が良いか、お釣りは出ないが今後検討したい。

子ども育成会・高齢者団体補助金は

議員 子ども育成会・高齢者団体の人数把握方法について尋ねる。

町長 老人クラブ補助金交付要綱に基づいて、補助金申請書などの提出をお願いしている。

教育長 子ども育成会事業補助金交付規程に基づいて、補助金申請書などの提出をお願いしている。

議員 高齢者の補助金はいつ頃から交付されたか。

高齢障がい支援課長 平成17年からである。

議員 各地区の補助金不公平の対策はどうするか。

高齢障がい支援課長 各地区から相談あれば説明する。

町長 一度考えてみる。

（https://www.town.onga.lg.jp）で公開します。



たしろ　じゅんじ
田代　順二

Q 内閣府が示す避難所の備品や設備の備蓄などは十分か

A 命を守るために初動分を第一義、一定水準での備蓄はなされている

内閣府が示す備品や設備は十分か

議員 内閣府の自治体向けガイドライン「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針」が示している備品および設備は、十分にできているか尋ねる。

町長 本町の災害備蓄品の考え方は、命を守るために必要な初動分の確保を第一義としており、ガイドラインが示す備品および設備については、一定水準での備蓄はなされていると考えている。

議員 トイレは「仮設トイレの快適トイレ仕様での調達」になっているか。

町長 最適なトイレの確保には当たらないと思っている。

議員 シャワーや仮設風呂の資機材、洗濯機を備蓄する考えはあるか。

町長 備蓄できていないが、災害協定を結んでいるのが洗濯機で7事業所、風呂が2事業所ある。どのように設置していくか考えていかなければならない。



食育交流・防災センターにある備蓄倉庫（上別府）

議員 トイレや避難所で使用する生活用水の確保はできているのか。

町長 ガイドラインにあるタンクは保有しており、給水に関する協定も締結している。また、町内の井戸も把握しており、遠賀中学校の防災井戸はもちろん、民間の井戸も災害時の協力をお願いできるよう進めていきたい。

ライフライン施設等の整備について

議員 老朽化した水道管から新しい水道管への敷設替えの現状について尋ねる。

町長 中間市に確認したところ現在、町内の避難所周辺の本管・支管を優先的に耐震管への敷設替えを行っている。

議員 防災拠点施設の非常用電源の設置場所、燃料の備蓄状況を尋ねる。

町長 61施設のうち、非常用電源設備は6カ所にある。役場庁舎等は基本的に給油なしで8時間から72時間発電できる。燃料は、役場に若干備蓄しているのみである。

駅前コンビニの閉店について

議員 遠賀川駅前のコンビニが閉店したため、駅利用者から「駅周辺にお店がなく不便」との声が聞かれる。町はどのように考えているか尋ねる。

町長 町としても十分に認識しており、大変残念に捉えている。厳しい経営状況が続いたことが原因と聞いている。施設所有者であるＪＲ九州が誘致活動を行っており、町としては自動販売機の増設の検討を進めている。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ

Q 次期町長選への決意と今後の町政運営について尋ねる



はまだ りゅういち
濵田　竜一

A 遠賀町を未来へつなげるため、町長選に手を挙げさせていただく

町政運営と今後の方針について

議員 今期4年間の町政運営の評価について尋ねる。

町長 町政運営の評価については町民の皆さんからされるものと捉えている。2期目の所信表明である5つの柱に沿って振り返りたい。

①災害に強いまちづくり
②駅南開発と定住促進
③健康で誰もが活躍できるまちづくり
④子どもと子育てに優しいまちづくり
⑤行財政運営の効率化と高度化

常にあらゆる施策を全方向にバランス良く進めることで、全ての町民の皆さんの快適で安全な暮らしを守りながら、未来へ希望をつなぐまちづくりを進めることができたと思っている。

議員 次期町長選への決意と今後の町政運営方針について尋ねる。

町長 地方公共団体を取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少や全国で発生する大規模災害への対策など、後退は許されない状況である。現在第6次遠賀町総合計画後期基本計画の策定を進めている。「まちがつながる　未来へつなぐ遠賀町」実現のために、きめ細やかな不断の取り組みを行っていく必要がある。直面する課題を解決するためには、私自身の信条である「動く、アクション」を実践し、あるべき姿に向かって舵取りを行いたいと考えている。この町に関係する全ての皆さんと、「さらに前へ、ともに前へ」の姿勢で取り組みを前進させ、住みたい町、住み続けたい町を実現し、遠賀町を未来へつなげるため、次期町長選に手を挙げさせていただく決意をしているところである。

駅南開発の現状と今後について

議員 遠賀川駅南開発事業の今後の予定と本事業をどのように推進していくのか尋ねる。

町長 残されたインフラの整備や公共施設の引き渡し手続きなどを着実に進め、令和12年度の事業完成に向けて、組合の支援を行っていきたいと考えている。

議員 この新しいまちを発信していく上で駅南に関する行事が現在行われているか、また今後そのようなイベントなどを企画しているのか尋ねる。

町長 さまざまな方に、にぎわいや空間を作っていただいている。今年は花火大会も復活させた。駅南からどうつなぐのか、人の交流人口の部分も含めて、町が力を入れてやっていかないといけないことの一つだ。町の魅力を発信していきたいと考えている。



期待が膨らむ駅南開発事業

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ（https://www.town.onga.lg.jp）で公開します。

傍聴者の声

9月定例会には、延べ34人が傍聴に来られました。傍聴者の声を一部紹介します。

- 物価高で暮らしが大変になる中、生活応援商品券の在り方など、町民の声を取り入れ、検討してほしい。
- 学校施設の点検、町内公園の遊具の点検、修理のルールの徹底が必要。専門家による点検を。
- 来年はどういう結果が聞かれるか考えてみたい。
  議会広報モニターとして議会だよりを楽しみにしている。
- これからは広報、議会だよりをしっかり読みます。
- このように町政が運んでいくのだなと思いました。
- 私たちも免許返納から買い物、病院と不便になり、コミュニティバスやデマンドバスを利用させていただいている。小中学校のLED化や暮らし応援の商品券配布など、地元の活性化を心から願っています。
- 南中学校の荒廃に関する説明があったが、教育委員会や学校の対処に疑問を感じる。個人のプライバシーを守るのは重要であるが、内容によっては公開して早急に対応してほしい。
- 障がい者に対してトイレ問題は一番大切です。改善してほしい。
- 災害対応など安心して暮らせる町づくりに具体的に取り組み、加速させてほしい。
- また傍聴に来たいと思います。友人たちにも勧めたい。

次回の定例会は12月です

詳しい日程は、12月ごろに遠賀町ホームページ（https://www.town.onga.lg.jp）でお知らせします。
本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・
ふれあいの里センター・おんがみらいテラス
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

議会を傍聴してみませんか？



本会議と委員会の様子を
どなたでも直接見聞きできます。
受付は午前8時50分からとなります。
定員は30人（先着順）です。
※委員会の定員は5人（先着順）

詳細はこちら

研修会報告

①令和8年7月28日(火)
委員長・副委員長研修会
「委員会の運営について」
②令和8年8月18日(火)
町村議会議員研修会
「議員報酬について」
※①と②はオンライン受講

③1期目議員等研修会
令和8年8月27日(木)に福岡県自治会館にて1期目議員等研修会に参加しました。「地方公会計の基礎知識について」をテーマに塩塚公認会計士事務所所長の塩塚正康氏から講義を受けました。研修では、地方公会計の基本的な考え方や貸借対照表などの「財務4表」の見方、予算・決算審査における活用方法について、具体的な事例を交えて学びました。
公共施設などの事業を考える際には、建設費だけではなく、その後の維持管理費や将来的な財政負担まで見据えることが重要だということです。
今回学んだ視点を今後の予算・決算審査に生かし、町の現在だけでなく、将来の財政状況も意識しながら、議員活動に取り組んでいきたいと思います。



1期目議員等研修会の様子

野口久美子氏が議員辞職

野口久美子氏から一身上の都合により辞職願が提出され、地方自治法第126条の規定に基づき、令和8年9月30日をもって議員辞職となりました。

議会広報モニター決定

議会だより No.181 および No.183 で募集した議会広報モニターは、４人の皆さんに決定し、委嘱状を交付しました。

１年間、よろしくお願いします。



左から>
河内　悦子さん　　白石　美穂子さん
村田　久美子さん　　宮﨑　弘子さん

広渡小学校２年生が今年も議場に来ました！

令和８年９月24日（木）広渡小学校２年生の児童たちが「町探検」の授業で役場を訪れ、議場で町職員へインタビューを行いました。

初めての議場で子どもたちはとても緊張していましたが、次第に笑顔が見えました。



議場のマイクを使って発言中！

第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会

令和８年９月26日（土）、27日（日）福島県喜多方市で全国市町村交流レガッタ大会に議会チームとして参加しました。

初日の予選では、他艇を圧倒し１位でゴール。昨年に引き続き２年連続で全国の決勝の舞台に立つことができました。



応援にガッツポーズで応える議会チーム

決勝ではスタートで出遅れたものの、残り200m時点で２位まで追い上げました。２位から５位までがほぼ同時にゴールし、結果は３位と0.61秒差の「5位」。表彰台まであと一歩という悔しい結果となりました。

議会クルー決勝戦の結果（予選全24クルー）

1位	秋田県由利本荘市議会	2分06秒72
2位	愛知県東郷町議会	2分12秒55
3位	秋田県大潟村議会	2分13秒78
4位	福井県美浜町議会	2分14秒17
5位	福岡県遠賀町議会	2分14秒39
6位	滋賀県大津市議会	2分24秒50

議会の今後の活動（10～11月）

日程	内容
10月30日	茨城県石岡市議会視察受入
11月20日	町村議会広報研修会

発行責任者
議　長　織田　隆徳

議会広報常任委員会
委員長　松尾　啓太
副委員長　立石　紘一郎
委　員　田代　順二
松本　登
萩尾　修身

編集後記

駅みなみ地区には、住宅が建ち始め、来年にはスーパーマーケットも開店する予定です。

遠賀総合運動公園を整備するための検討委員会も始まり、本町の発展が期待されます。

一方、今年も熊本地震を始め、関東地方や北陸地方など経験したことがない豪雨災害、また、ネパール・中国での土石流は強烈でした。

国、自治体の災害対策の強化はもちろんですが、地球温暖化対策を世界規模でより一層進めるときではないでしょうか。

田代　順二

議会だよりに関するご意見ご感想をお寄せください。遠賀町議会事務局　☎093(293)1235　e-mail：gikaijimukyoku@town.onga.lg.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。